

目次

新入生等へEMS基本教育を
実施しました 1ページ

駐輪指導は延期します。
EMS 基本教育研修会(集合研修)
の中止について 2ページ

実験系作業部会からのお知らせ
3ページ

診療系作業部会からのお知らせ
4~6ページ

出雲キャンパスEMS実施委員会
医学部及び附属病院
EMS対応委員会

新入生等へEMS基本 教育を実施しました

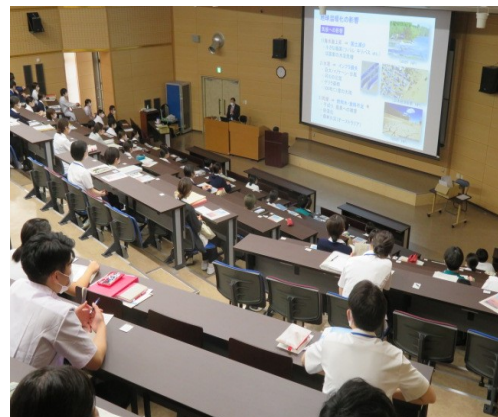
新年度を迎え、新たに採用となった看護師、医療職員、研修医及び新入生に対し、EMS基本教育を実施しています。今年度は看護師、医療職員と研修医は合同で実施しました。

また、学部学生については学生EMS推進員が学生の目線から活動推進を伝える良い機会となっています。この基本教育は、毎年実施されています。

また、5月には全職員対象のEMS基本研修を計画していますので、是非ご参加ください。



医科研修医・歯科研修医研修



新任看護師，医療職員研修



大学院新入生オリエンテーション研修



学部新入生オリエンテーション研修

駐輪指導は延期します。

例年、5月の連休明けに実施しております駐輪場での駐輪指導と放置自転車の指導は、新型コロナウイルス感染防止拡大防止のための措置により、通常の学内交通状況ではないため、実施を延期します。今後の実施については、改めてお知らせします。

EMS 基本教育研修会

(集合研修)の中止について

例年、5月から6月に実施しておりました第1回、第2回のEMS基本教育研修会(集合研修)は新型コロナウイルス感染防止のため、中止します。

代替として、集合研修用に作成した研修資料を出雲キャンパスEMS関係のHPに掲載しますので、資料を閲覧いただき、閲覧後にアンケートに回答いただくことで受講確認させていただくことしましたので、期日までにアンケート回答いただきますようお願いいたします。

アンケート回答締切：8月31日(火)

○令和3年度EMS基本教育研修用資料／アンケートはこちら↓↓
(掲載場所URL)

https://www.shimane-u.ac.jp/intra/ems_izumo/ems_izumo03.html

※アンケート入力の注意事項

アンケートに入力後、「確認」を押下するとクリックが変わります。

アンケート内容を確認後、「回答する」をクリックすると画面が変わります。

「ご協力ありがとうございました。以下の内容で回答しました。」が表示されれば送信完了です。

それ以外が表示される場合はエラーとなりますので、必須項目の入力漏れ等再度確認してください。

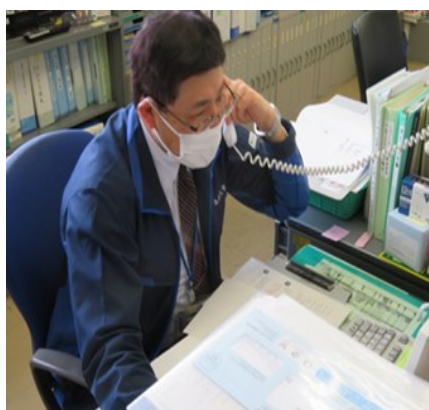
※4月5日(月)13時からの新採用職員(看護師、医療職員等)向け [EMS 研修会](#)を受講された新採用職員は本研修会の参加を免除します。

実験系作業部会からのお知らせ

学内ゴミ集積 BOX に不適切な廃棄物が搬出された場合の対応について緊急事態テストを行いました。

学内ゴミ集積 BOX に不適切な廃棄物(化学薬品, 液体廃棄物等)が搬出された場合に緊急対応する際の体制確認と迅速な処置の手順を確認する事を目的として訓練を行いました。

医学部会計課施設管理室環境マネジメント担当へ廃棄物回収者より基礎研究棟 1F のゴミ集積 BOX に現像液および定着液の廃液と思われる廃棄物の搬出があり回収できないとの連絡があった, との想定で訓練を開始しました。廃棄物回収者からの連絡を受け, 医学部会計課施設管理室環境マネジメント担当者は, EMS 実験系作業部会員に連絡をし, 現場に集合した医学部会計課施設管理室環境マネジメント担当者, EMS 実験系部会員により搬出物が現像液および定着液の廃液と思われることを確認しました。不適切な廃棄物を搬出した部署を特定し, 廃液回収日までの適切な保管を依頼するため, 環境マネジメント担当者は, 出雲キャンパスの廃水取扱指導員, 毒劇物管理責任者, 技術職員宛に一斉メールで搬出元の確認を行い, 緊急事態テストを終了しました。



排水取締指導員 各位
(C.C. 関係事務職員, 技術職員)

3月17日(水)に構内廃棄物回収業者から連絡があり, 基礎研究棟1階南側出入口の廃棄物収集場所に搬出元不明な廃液(容器からは写真の現像液・定着液と推定されますが, 内容物は不明です)2本が搬出されている事象が発生しました。この廃液は, 内容物を特定し, 適正な処理を行なう必要があるため, 搬出元に引き取っていただき, 次回廃液回収時まで保管をお願いします。現在, 代謝生化学原先生の下で保管していただいておりますので, 部署内で確認していただき, 搬出された部署は会計課施設管理室環境マネジメント担当まで連絡をお願いします。

記

対象物品表示 FUJIFILMハイレンドール(現像液) 1本
FUJIFILMハイレンフィックス(定着液) 1本
連絡先 生化学講座代謝生化学原講師
(内線: 5200)
メールアドレス: nhara@med.shimane-u.ac.jp
会計課施設管理室環境マネジメント担当(出雲)
(内線: 2549)
メールアドレス: fpd-ikankyo@office.shimane-u.ac.jp

診療系作業部会からのお知らせ

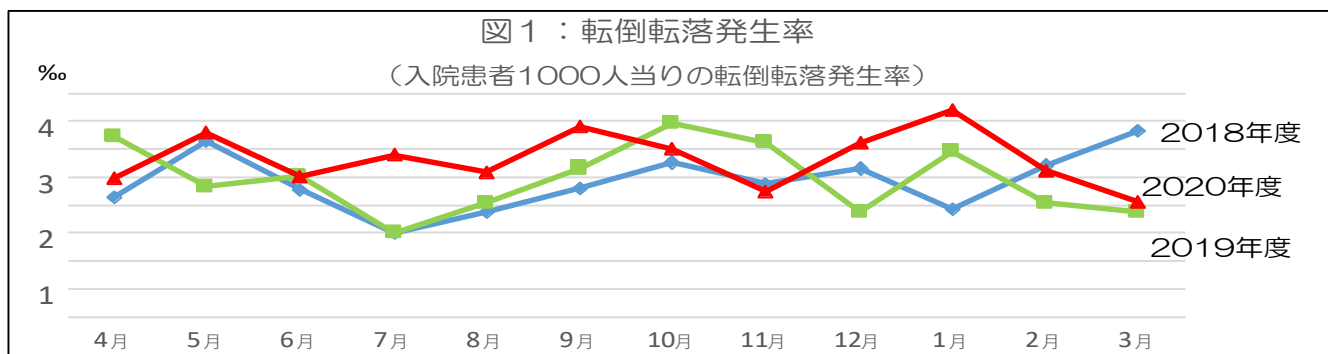
附属病院 EMS 診療系作業部会では、以下の目標に関して活動を行なっています。

1. 転倒転落事故および針刺し事故防止を推進し、事故のために発生する医療資源投入を削減する
2. 医療スタッフの抗がん剤による曝露機会を減少させる
3. 医療廃棄物の分別を徹底し、感染性廃棄物による曝露を防止する
4. 廃棄カートの管理・運用を徹底し、感染性廃棄物による曝露を防止する

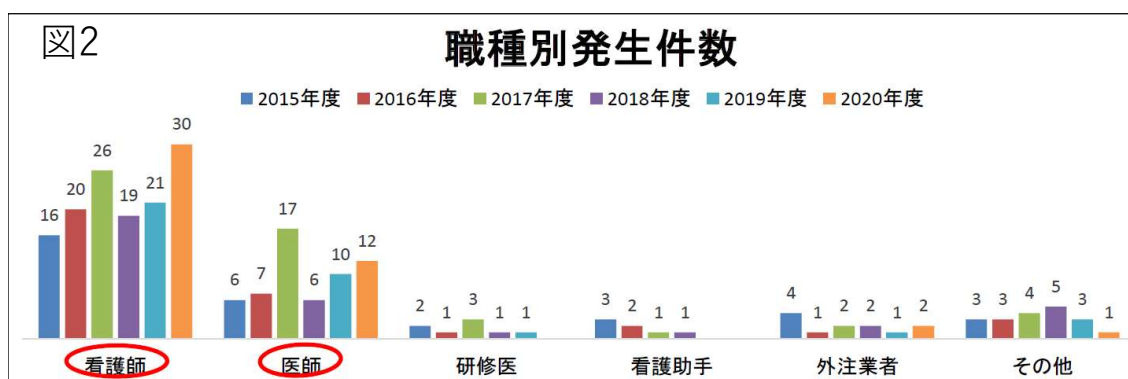
それぞれの目標に対する 2020 年度の活動状況と現状に関して報告致します。

転倒転落事故および針刺し事故防止を推進し、事故のために発生する医療資源投入を削減する

附属病院のインシデントレポート報告件数に占める転倒転落は、2018 年度は 20.3% (586/2887)、2019 年度は 19.7% (599/3037) で、2020 年度は 21.6% (624/2893) でした。延べ入院患者患者 1000 人あたりの転倒率はそれぞれ 2.92→2.95 でしたが 2020 年度は 3.35 でした。また、骨折や頭蓋内出血など、濃厚な治療や処置を要した事例(3b 以上の)割合は 2018 年度は 2.6%、2019 年度は 1.7%でしたが、2020 年度は 2.6%でした (図 1)。転倒率、3b 以上の重大インシデントは 2019 年度と比較して上昇しており、要因解析を通じた対策を検討しました。その結果、通常転倒される患者さんは男性が多く、軽症の転倒は日中に多いですが、重大な転倒が発生するのは有意に女性に多く、深夜、早朝にかけて多いこと、また、ある特定の病棟でも起こりやすいことがわかりました。また、トイレ時の転倒が 4 割を占めています。また、転倒のリスクが高いと思われる患者様には、ベッドから移動されたら病棟のスタッフステーションに移動したことがナースコールで伝えられる離床センサーを設置しています。しかし、離床センサーも完璧ではなく、コールが鳴っても看護師が到着する前に転倒されていたというケースもありました。引き続き転倒の原因や背景を解析し、重大転倒が発生しないように対策を講じます。また、また、医療安全研修会、リスクマネジメント通信等を通して転倒転落防止の啓発活動を継続する予定です。



針刺し等、体液曝露例は2018年度34件、2019年度は36件、2020年度は44件でした。職種別では看護師が最も多く、2019年度は58.3%(21/36)、2020年は68%でした。医師・研修医の曝露が2019年度30.5%(11/36)あり、2020年度は29.5%(13/44)でした(図2)。注射針による曝露は、2019年度は16.7%でしたが2020年度は11.4%、縫合針による受傷は2019年度22.2%でしたが2020年度で25.0%、インスリン針による受傷は2019年度16.7%でしたが2020年度は11.4%でした。発生場所では、手術室47.7%、病室は38.6%でした。患者数、稼働率が上昇し、スタッフの作業数も増加していますが、安全な器材への変更や「ICTラウンド」による各病棟、外来、特殊・中央診療部門等での啓発活動が必要と考えます。今後も、針刺し等体液曝露防止を重点課題として、感染対策啓発活動として継続します。また、感染対策研修会、ICTニュース等を通して、啓発活動を継続する予定です。



医療スタッフの抗がん剤による曝露機会を減少させる

2019年2月に「がん薬物療法における曝露対策合同ガイドライン」が改訂されたことに伴い、当院のマニュアルを改訂し、全抗がん剤について閉鎖式薬物移送システムを使用する運用を2019年7月から開始しました。同時に抗がん剤曝露防止対策マニュアル第2版の運用を開始し、全抗がん剤について閉鎖式薬物移送システムの使用を継続しています。

抗がん剤調製時、投与時、廃棄時の暴露事故、インシデントを収集し、2020年度は4件の暴露事故が発生しましたが、いずれも軽微な範疇でした。

新人職員、中途採用看護職員への抗がん剤投与時の曝露防止に関する講習や曝露時の対応に関して講習を実施しました。また、新人薬剤師には抗がん剤ミキシング時の曝露防止に関する講習を実施しました。

3月下旬には、抗がん剤曝露時の緊急対処法を職員に周知するために、抗がん剤曝露時のスピルキット、不活化ワイプの使い方に関して病棟をラウンドし、病棟のスタッフの方々と使用方法の確認を行ないました。抗がん剤不活化ワイプの使用法は理解されていないようでしたので、改めて薬剤部や医療安全管理部を通して使用方法に関して周知します。今後も、「抗がん剤曝露防止対策マニュアル第2版」の運用開始後の遵守状況を確認します。また、医療安全管理部を通して、抗がん剤調製時、投与時、廃棄時の曝露事故、インシデント情報を収集します。新規採用者と中途採用者へは、曝露防止と曝露時の対応に関して講習を行う予定です。

医療廃棄物の分別を徹底し、感染性廃棄物による曝露を防止する

2020年度上半期の感染性産業廃棄物量は前年度同期と比べて122%、感染性一般廃棄物は79%

となりましたが、2019年度から感染性廃棄物の定量方法が変更となった影響があると考えられます。また、2019年度と比較した2020年度上半期の延べ入院患者1,000人当たりの排出量は、感染性産業廃棄物は107%、感染性一般廃棄物は87%でした。

患者数の増加や医療安全および感染予防の面から、ディスプレイ製品の使用を推進しているために感染性廃棄物の排出はやむを得ませんが、廃棄物の適正な管理が重要であり、ICTラウンドを通して現場に出向き、廃棄物の厳密な管理・運用を行うよう継続的に啓発しました。

廃棄カートの管理・運用を徹底し、感染性廃棄物による曝露を防止する

感染制御部で毎週実施しているICT環境ラウンドにおいて、各病棟等の廃棄カートの管理状況を確認しています。廃棄カートの管理不備に関して、鍵をかけて運用するようになっていますが、時々鍵のかけ忘れがあるところがあるので、ICTラウンドの際に施錠管理を依頼しています。また、ペール缶内への可燃物の混入も時々見られました。廃棄カート運用に伴う感染性廃棄物による曝露報告はありませんでした。廃棄物カートについては管理・運用ができていますが、いくつか改善すべき点が見いだされたので継続的に周知・教育を実施する予定です。

出雲キャンパス、附属病院をより良い環境にするために、皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

EMS事務局からのお知らせ

EMS事務局では、みなさんから**省エネのアイデアを募集**しております。

我が家での成功例など大学での省エネに有効なものがありましたら以下のEMS事務局までお寄せいただきたいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

学内関係者用には、EMS関係会議の議事録、EMS研修の資料、環境に関する諸規則・マニュアル等が参照できますのでご利用ください。

その他、EMSに関するご意見等ございましたら、以下の連絡先又はホームページ「キャンパス環境投書箱」へお寄せください。

○島根大学出雲キャンパス EMS 事務局
会計課施設管理室環境マネジメント担当
TEL 0853-20-2549
FAX 0853-20-2049
E-Mail fpd-ikankyo@office.shimane-u.ac.jp

○島根大学ホームページ「環境マネジメントシステム」
出雲キャンパスでのEMS活動内
キャンパス環境投書箱

<https://www.leaf2.shimane-u.ac.jp/enquete/no/s40lGkBPgJ>